

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:4 事業名:長寿やまなし振興事業費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	H28全国派遣事業について、決算額が予算額の半分程になっているが、理由は、	小田切課長	参加選手数が当初予定の203人から150人になったこと、また、航空券の早期購入割引単価適用による航空機運賃の減による。
五味アドバイザー	地域活動支援事業のことぶきマスターの活動数値122人19グループが登録されているのに対して、実人数は35人前後だが活動する人は固定化してきているのか。	小田切課長	その傾向はあると思う。
五味アドバイザー	ことぶきマスターに対して20万円程の補助金が使われているが、内容は、	小田切課長	高齢者リーダー活動促進事業費で、ことぶきマスターに対する研修や、通知の郵送料、研修講師の報償費等を補助している。
五味アドバイザー	ことぶきマスターの施設等への派遣に対する交通費については支給されていないということでしょうか。	小田切課長	そのとおり。交通費については、派遣を依頼する団体へ可能な場合はお願いしている。
五味アドバイザー	ことぶきマスターの方は施設等に行く段取り等を自分で手配するのか。	小田切課長	ことぶきマスター人材バンクは社協が管理している。依頼者から社協へ派遣依頼が来たら、依頼者と社協が直接やりとりをする中で、詳細な内容を確認した上で、人材バンクの中から適した人材を選び、派遣する。

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:4 事業名:長寿やまなし振興事業費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
五味アドバイザー	ことぶきマスターの研修会について、こういったものをどれくらいの頻度で行っているのか。	小田切課長	新しくことぶきマスターになった方の認定式を2月頃に行っていて、認定式終了後、新規の方と、今までにことぶきマスターになった方と交えて、事例発表会や情報交換会を行っている。この研修の中でことぶきマスター同士の交流や、活動の広がりを図っている。
五味アドバイザー	研修会の講師は。	小田切課長	外部の講師に依頼しているが、昨年度はことぶきマスターの実践発表ということで、実際に活動していることぶきマスターの方に話をして貰った。
五味アドバイザー	決算額が予算額から減額された理由は報償費がかからなかったからか。	小田切課長	そのほかにも、消耗品費や、研修会看板代の縮減を行った。
諸片アドバイザー	予算と決算の乖離について、選手派遣数の減が原因か。	小田切課長	予算の人数に比べて、実績は8割程度となっている。
諸片アドバイザー	選手派遣については、毎年同じ人が行っているのか。	小田切課長	実際に重複している方もいると思うが、予選等により、新しい方が行く場合もある。旅費等は全額補助ではないので自己負担があり、選手として選ばれたが参加しない選手もいると聞いている。

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 4 事業名: 長寿やまなし振興事業費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
諸平アドバイザー	ねりんピックの参加資格(年齢)は。	小田切課長	参加者の年齢は、60歳以上。
諸片アドバイザー	60歳といっても、現在の60歳と事業開始時(平成3年)の60歳とでは状況が異なると思うので、事業が始まった平成3年からは大分変わってきているのではという印象を受ける。	小田切課長	
諸片アドバイザー	事業の諸費については具体的に何か。	小田切課長	印刷費、光熱水費、リース料、電話料、消耗品費等、本事業に係る事務費である。
諸片アドバイザー	情報提供事業の内容は。	小田切課長	当事業に係るホームページを毎年度更新するための更新手数料である。国のページとリンクしているため、更新が必要となっている。
小口アドバイザー	60歳以上が対象となるが、山梨県内の60歳以上の人口は平成19年と現在の状況は。	小田切課長	県(当課)で行っている高齢者福祉基礎調査では65歳以上を対象として調査をしているが、平成19年は199,983人、平成29年は242,065人。

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:4 事業名:長寿やまなし振興事業費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	増加した人数と比較して参加人数がどうかというところを出来れば見たかった。本戦の人数は競技ごとに上限があるため、各地域での参加者の伸びが分かれば見たかった。		
小口アドバイザー	世代間交流については、子どもの参加者がどのくらいかを確認したほうがよいのでは。	小田切課長	参加者については、人数のみしか集計していないため、世代別の参加人数は把握していない。
小口アドバイザー	ことぶきマスターについては、他県でも同じような制度はあるのか。	小田切課長	把握していないので、確認しておく。
小口アドバイザー	ことぶきマスターを依頼する施設も固定化しているのか	小田切課長	そのような傾向もあるので、福祉施設だけではなく、小中学校や、放課後児童クラブ、ことぶき勸学院等にチラシを配ったり、周知を行っている。
小口アドバイザー	ことぶきマスターに求める物は何か。	小田切課長	ことぶきマスター自身が、知識や技能を発表することはもとより、高齢者の社会参加が求められているため、ことぶきマスターを見た方が自身で新たに活動を始めるなど、地域の中で参加する方を増やして行ければと思う。

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 4 事業名: 長寿やまなし振興事業費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	ねりんピックの全国大会の参加の補助率は、他県と比較してどうか。	小田切課長	ばらつきはあるが、他県並ではないかと考える。
小口アドバイザー	全国大会派遣事業については節減の努力をされているようだが、他県の水準等も確認頂きたい。	小田切課長	<p>(旅費、 宿泊費、 ユニフォーム代)</p> <p>山梨県(1/2、 定額5,000円、 1/2)</p> <p>長野県(全額、 1/2(上限5,000円)、 1/2)</p> <p>新潟県(4割、 4割(上限6,400円)、 4割)</p> <p>茨城県(、 上限2万円、 1/2)</p> <p>群馬県(、 1/3(上限2万円)、 3,000円)</p>
小口アドバイザー	ねりんピックは予選会の数は分からないということだが、作品展についても高齢者の人口の増加と比較して、むしろ数字が減っている様に見えるが、原因はどの辺にあると考えるか。	小田切課長	参加者が固定化していると考え。地区単位で老人クラブが予選会をしていて、呼びかけを行っているが、その方法についても、検討する必要がある。
小口アドバイザー	おそらく、新規の参加者がいないのではないかと。		現在は働き方や考え方も代わり、60歳になっても働いたりする方もいるため、老人クラブの加入人数も少なくなっているが、全国大会も60歳以上という要件があるため、県だけ65歳にするわけにもいかない。60歳以上の中から多くの方に応募して頂けるよう検討する必要があるのではないかと考える。

《様式1》

(平成29年8月23日 健康長寿推進課)No.6

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号: 4 事業名: 長寿やまなし振興事業費補助金

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	年齢別に参加者を確認すればわかるのかと思う。	細田課長補佐	シルバー作品展、シルバー俳句大会ともに、70代、80代が多い。
五味アドバイザー	ホームページの更新手数料については、社協のホームページか。社協の持っているホームページについて補助している理由は、	細田課長補佐	国のホームページとリンクしている部分があり、その部分の更新や、高齢者への情報発信という、当事業に関する部分にのみ補助している。
五味アドバイザー	周知の方法だが、各地で老人クラブ数は減少しているため、そこを通じての周知は非常に難しくなっていると感じる。		
小口アドバイザー	ホームページの更新は該当部分がある限り費用が掛かってくるのか。	細田課長補佐	契約内容によって金額は変わってくると思うが、一定の金額は必要と考える。
			以上